

よりよく生きる

3年生の道徳授業の紹介 愛ある愛媛の道徳「親しき仲にも」

3年生の3学期の道徳授業の内容を紹介させていただきます。

資料のあらすじ

テニス部の綾乃は、キャプテンとして欠席の連絡や練習メニューの伝達などをメールで行っていた。明日の練習は、3人がインフルエンザ、泉は家族の予定が入り、練習に参加できないという連絡がメールで入る。綾乃は携帯を持っていない由美の家に、練習メニューの件で夜の10時に電話を掛ける。由美はお風呂に入っていたが、電話を取った父から、「遅い時間にどうしても必要な電話なのか？」と問われた。



次の日の朝、泉から電話で練習に参加できないというお断りの連絡が再度入る。泉は、「母親から、欠席連絡をメールで伝えるのは失礼だし、きちんと欠席の理由も伝えないとキャプテンが心配すると言われたから」という理由で電話を掛けたのだった。綾乃は昨日、由美の父から言われた言葉を思い出していた。

22時に友達の家には電話を掛けるのはあり？ なし？

- ・相手の許可をもらったらありだと思う。
- ・自分だけ、携帯で掛けるのだったらありだけど、家の電話に掛けるのは、相手に迷惑を掛けることになる。
- ・寝る時間だし、常識を分かっていると思われる。

大事な連絡をするのに、メールやSNSを使うのはあり？ なし？

《あり派》

- ・すぐに伝えたいことを伝えられる。
- ・丁寧なメールの内容だったらよい。
- ・相手の好きなタイミングでメールを見ることができるので便利である。

《なし派》

- ・文面だけでは、伝わらないこともある。
- ・メールだけでは相手に失礼。



コミュニケーションを取る上で大切なことは？

- ・相手の立場を考えて言葉を選ぶこと。
- ・目を見て話すこと。
- ・相手の話を最後まで聞くこと。
- ・気持ちを込めること（感謝の気持ちを忘れないこと）。
- ・相手の気持ちを考えて話すこと。
- ・まずは挨拶から。挨拶を大切にすること。

現在は、携帯電話で手軽に友達などとコミュニケーションを取ることができる時代です。中学生も例外ではありません。そんな中、綾乃は違う世代の人々の意見を聞くことによって、取るべき正しい行動とは何かを考えるようになりました。親しい間柄でも、大切にしなければいけないものは何かを考えることは、礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動を取る判断力を育てることにつながっていくのかもしれません。